

事例2 外部評価の実践とその活用

【小学校の事例】学校の重点目標に照らして、教職員、児童、保護者による評価の結果から課題を焦点化し、改善策を示しています。また、評価結果を積極的に公表して、改善策や対応策について説明しています。

(1) 学校のビジョンづくりと取組状況の説明

平成14年12月に、保護者や地域の方々、教職員を対象に、この小学校はどんな学校であってほしいか、また、どんな子どもに育ててほしいか、その意識の実態を把握するためにアンケート調査を行いました。

外部評価の実施と活用

実施時	目的	内容	対象
H14.12	学校教育目標に照らして重点をおきたい内容について意見を聞く	アンケート実施	教職員 保護者 地域の方
H15.4	学校経営の重点について共通理解を図る	15年度重点化構想並びに「小はこんなことに努力します」作成	教職員 保護者
H15.5	学校の取組の様子について理解を得るための情報提供	「学校だより」の様式変更	教職員 保護者
H15.12	学校経営の重点化構想に基づいた学校の取組の様子について意見を聞く	アンケート実施	教職員 保護者
H16.2	アンケートの結果に基づいて各校務分掌の立場から考察し、次年度の構想につなぐ	考察のまとめ	教職員
H16.4	学校経営の重点について共通理解を図る	16年度重点化構想並びに「小はこんなことに努力します」作成	教職員 保護者
H16.4~	学校の取組の様子について理解を得るための情報提供	「学校だより」による学校の取組紹介	教職員 保護者 地域の方
H16.12	学校の取組についての理解促進	一日学校公開	保護者 学校評議員
H16.12	学校経営の重点化構想に基づいた学校の取組の様子について意見を聞く	アンケート実施	教職員 児童 保護者 学校評議員

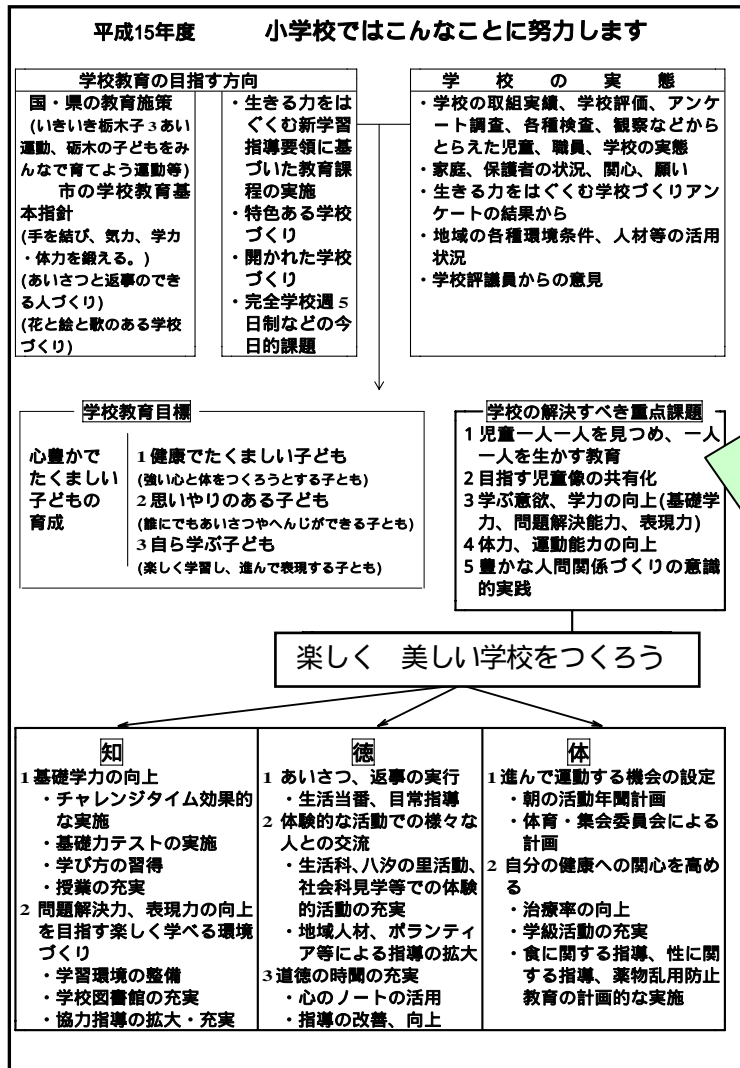
は外部評価

さらに、学校評議員からの意見を聞きながら、学校経営構想を見直しました。そこから、学校が解決すべき重点課題を設定し、「小学校ではこんなことに努力します」(P14 図6参照)という保護者向けの学校経営方針を作成しました。この経営方針に示した重点課題と改善に向けた具体策については、教職員の共通理解を図るために、年度当初の職員会議で説明するとともに、PTA総会で保護者にも資料を配付して説明しました。さらに「学校だより」の様式も変更し、学校の重点課題に取り組む様子を知らせてきました。もちろん、保護者だけではなく、児童にも授業や学校行事等あらゆる場面を通して学校の重点課題解決に向けた具体策の意識化を図ってきました。

(2) 教職員、児童、保護者の三者による評価

12月には、重点課題に取り組んできた事柄について教職員、児童、保護者の三者によ

る評価を行いました。教職員も保護者も同一項目で評価し、児童も重点課題に対する取組について自己評価しました。



次ページ図7、8、9は、平成16年12月に実施された、教職員、児童、保護者のアンケート結果と、その分析をもとにした考察を学校通信で知らせたものです。

この小学校では、下の資料1のようなアンケート用紙を作成し、生きる力をはぐくむ学校づくりへの要望を把握するため、保護者、地域の方の関心、願い等について調査を行いました。

さらに学校評価や保護者、地域の方のアンケート調査、各種検査、観察等のデータをもとに、学校のビジョンを作成し、取り組むべき重点課題を設定しました。

図6 保護者向け経営方針説明資料

【資料1】 ビジョンづくりに役立つ保護者へのアンケート例

1	あなたのお子さんがどんな子どもに育ってほしいと思いますか。 特に望むものを次の中から5つまで選んで を付けてください。 その他何かありましたら () にお書きください。 () よく勉強する子 () 自分の考えが言える () 考えて行動できる子 () あいさつがよくできる子 () 言葉遣いがよい子 () 素直な子 () 仲良くできる子 () 思いやりのある子 () 物事の善悪が分かる子 () 親の言うことをよく聞く子 () 決まりや約束を守れる子 () ねばり強く最後までがんばる子 () たくましい子 () 明るくのびのびとした子 () よく働く子 () 進んで読書する子 その他()
2	本校がどんな学校であってほしいと思いますか。 特に期待するものを次の中から3つまで選んで を付けてください。 その他何かありましたら () にお書きください。 () 学力をしっかり付ける学校 () あいさつや言葉遣い等がしっかりしている学校 () 心の教育を大切にする学校 () 健康づくりを推進する学校 () 一人一人を大切にする学校 () 子どもが自ら進んで活動することを進める学校 () 地域に開かれ、地域と一体となって教育を推進する学校 その他()
3	本校の教育全般について、感想・意見・提案などがありましたらお書きください。

教職員、児童、保護者の三者が、それぞれ同一項目で評価することで、教職員の評価だけでは気付かなかった成果や課題が明らかにされました。また、三者の集計結果を整理、分析していくことで、それぞれが課題と感じている重点項目について把握することができました。重点課題として実践してきた取組に成果がみられなかった点については、「なぜ、成果につながらなかったのか」、「なぜ、三者のアンケート結果が異なるのか」、職員会議等の場でその原因を探っていきました。さらに問題を整理し、改善を図るべく具体的な改善策を策定しました。策定された改善策は、次年度の重点課題のなかに盛り込まれています。

この小学校では、ただ学校評価を行うのではなく、図 10 のように、評価結果をもとに次年度取り組む重点項目づくりに生かしています。

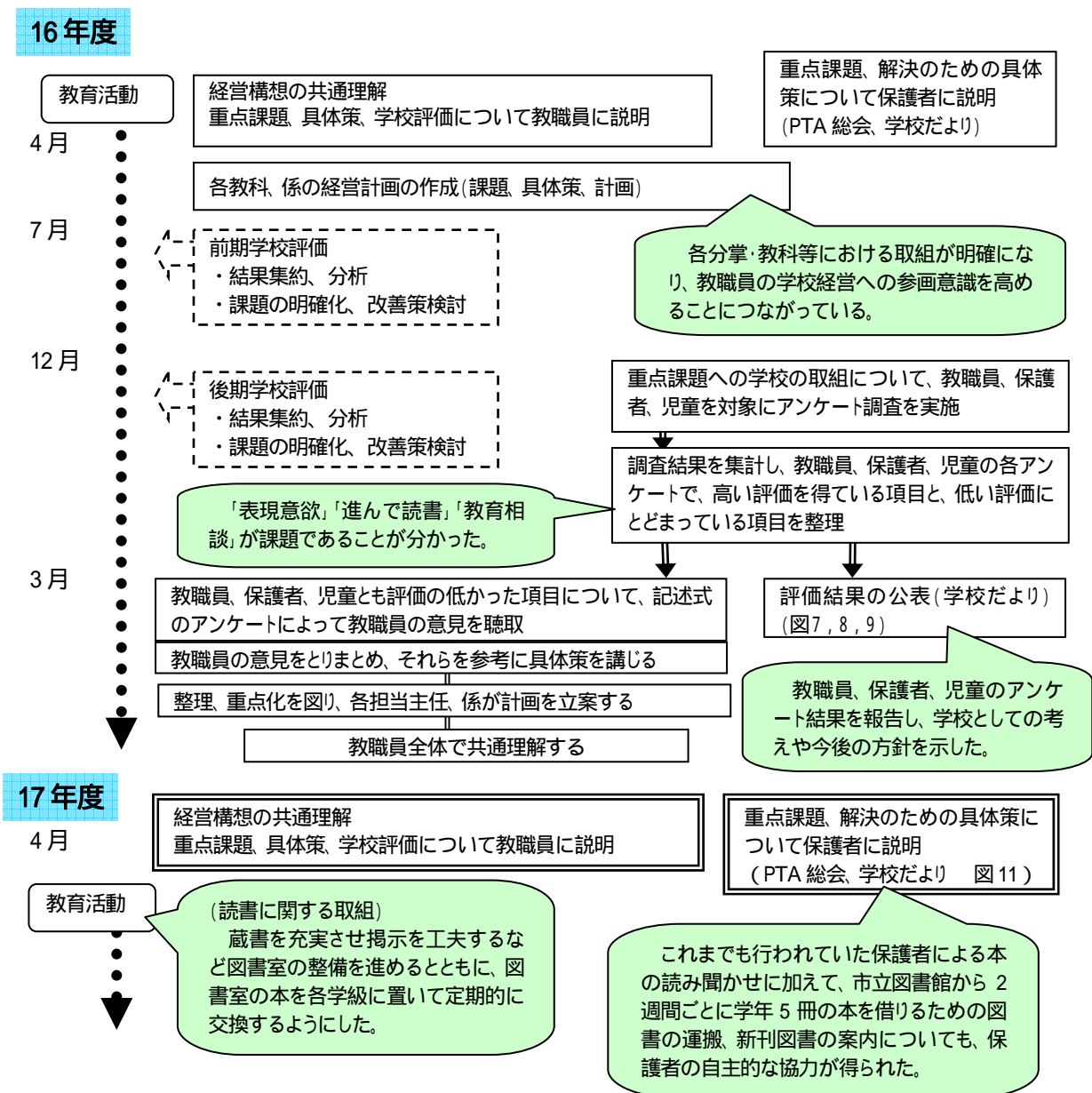


図 10 学校評価の流れ

(3) 評価と公開によって生まれた保護者との連携、協力、協働

この小学校では、年度当初のPTA総会時に、「小学校ではこんなことに努力します」という説明資料(P14 図6)を保護者に提示し、取り組むべき重点課題を知らせてきました。また、これらの取組について、12月にアンケート調査(評価)を行うことを伝え、学校は、正しく評価をしてもらうために、「学校だより」や「保護者会」、「学校開放日」、「学級通信」などを通して学校の取組について知らせてきました。



今年度は、子どもの基礎・基本の定着に力を入れていきます。特に「読む力」、「書く力」、「計算する力」の育成を図ります。そのために学校では、・・・を行います。

平成16年度末には、図7、8、9(P15)のように、評価の集計結果とその分析結果を保護者に伝え、平成17年度のPTA総会時には、集計結果をもとに、新たに「今年度はこんなことに努力します」(図11)を保護者に提示しました。このように情報をきちんと保護者に伝えることで、重点課題解決のための具体策に掲げられた「本に親しむ機会をつくる」について、保護者からの協力が得られました。保護者が、市立図書館から2週間ごとに学年5冊の本を借りるための図書の運搬や、それらの図書の案内を買って出てくれたのです。

平成17年度は、保護者も教職員も「児童が本に親しむための教育活動」に協働して取り組んでいます。

昨年度の評価結果を踏まえた重点課題と、解決のための具体策を示しています。17年度は、読書への関心・意欲を高めることを新たな重点課題に掲げ、児童が本に親しむための教育活動や条件整備の充実に取り組んでいます。

今年度はこんなことに努力します 平成17年4月20日

<p>学校教育の目指す方向</p> <p>国・県の教育施策</p> <ul style="list-style-type: none"> 生きる力をはぐくむ学習指導要領に拠る教育課程の実施 特色ある学校づくり 開かれた学校づくり 外部評価の実施 特別支援教育への移行 いきいき栃木っ子3あい運動 栃木の子どもをみんなで育てよう運動 <p>学校教育基本指針</p> <ul style="list-style-type: none"> 手を結び、気力、学力、体力を鍛える。 絵と歌と花のある学校 <p>学校教育目標</p> <p>心豊かで たくましい 子どもの育成</p> <ol style="list-style-type: none"> 健康でたくましい子ども (強い心と体を作るうとする子ども) 思いやりのある子ども (誰にでもあいさつや返事ができる子ども) 自ら学ぶ子ども (楽しく学習し、進んで表現する子ども) <p>学校の実態把握</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の取組実績、学校評価、アンケート調査、各種検査・調査データ、観察からとらえた児童、教職員、学校の実態 保護者、学校評議員からの意見 地域の各種環境条件、人材等の活用状況 学習障害等特別支援事業実施校 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; vertical-align: top;"> <p>学校の重点課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 表現力の向上 (1) 自分の気持ちや考えを進んで表現する意欲を高める。 (2) 表現技能を身に付ける。 (3) 表現の機会を設ける。 読書への関心・意欲を高める。 健康・安全への関心を高め、行動できるようにする。 教育相談体制の充実と望ましい人間関係をつくる。 個に応じた指導を充実する。 (特別支援教育の啓発と実施) </td> <td style="width: 70%; vertical-align: top;"> <p>課題解決のための方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 児童一人一人の姿を知・徳・体の各面から多様にとらえ、一人一人の特性を生かした指導の一層の充実を図る。 全校職員が課題意識を共有し、学校経営への参画意識をもって校務を遂行する。 効果的な教育活動展開のための物的・人的条件整備を行う。 学校教育の質的向上を図るため、家庭・地域・関係機関との一層の連携を進める。 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">重点課題解決のための具体策</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">徳</th> <th style="width: 33%;">知</th> <th style="width: 33%;">体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 相談ポスト活用、相談コーナーの設置などいつでも、だれにでも読めるしくみをつくる。 本に親しむ機会をつくる。 <ul style="list-style-type: none"> 朝の読書の効果的実施 てんとう虫の会による読み聞かせや朗読 学級文庫図書の定期交換 </td> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 自分の考えや気持ちを書いたり、話したりする力を高める学習活動を取り入れる。 <ul style="list-style-type: none"> 日常の授業での表現の場づくり 国語科言語活動の授業の工夫 道徳の時間に気持ちや考えを表現する場を大切にする。 一人一人の学習状況にあった指導の工夫を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ティームティーチングなどの授業研究 どんぐり学級を生かした指導 </td> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 自分の健康やに関心を持つ。 <ul style="list-style-type: none"> 健康診断結果活用 がんばりカード活用 養護教諭や外部専門講師とのチームティーチング 授業参観時の親子授業 </td> </tr> </tbody> </table>	<p>学校の重点課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 表現力の向上 (1) 自分の気持ちや考えを進んで表現する意欲を高める。 (2) 表現技能を身に付ける。 (3) 表現の機会を設ける。 読書への関心・意欲を高める。 健康・安全への関心を高め、行動できるようにする。 教育相談体制の充実と望ましい人間関係をつくる。 個に応じた指導を充実する。 (特別支援教育の啓発と実施) 	<p>課題解決のための方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 児童一人一人の姿を知・徳・体の各面から多様にとらえ、一人一人の特性を生かした指導の一層の充実を図る。 全校職員が課題意識を共有し、学校経営への参画意識をもって校務を遂行する。 効果的な教育活動展開のための物的・人的条件整備を行う。 学校教育の質的向上を図るため、家庭・地域・関係機関との一層の連携を進める。 	徳	知	体	<ol style="list-style-type: none"> 相談ポスト活用、相談コーナーの設置などいつでも、だれにでも読めるしくみをつくる。 本に親しむ機会をつくる。 <ul style="list-style-type: none"> 朝の読書の効果的実施 てんとう虫の会による読み聞かせや朗読 学級文庫図書の定期交換 	<ol style="list-style-type: none"> 自分の考えや気持ちを書いたり、話したりする力を高める学習活動を取り入れる。 <ul style="list-style-type: none"> 日常の授業での表現の場づくり 国語科言語活動の授業の工夫 道徳の時間に気持ちや考えを表現する場を大切にする。 一人一人の学習状況にあった指導の工夫を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ティームティーチングなどの授業研究 どんぐり学級を生かした指導 	<ol style="list-style-type: none"> 自分の健康やに関心を持つ。 <ul style="list-style-type: none"> 健康診断結果活用 がんばりカード活用 養護教諭や外部専門講師とのチームティーチング 授業参観時の親子授業
<p>学校の重点課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 表現力の向上 (1) 自分の気持ちや考えを進んで表現する意欲を高める。 (2) 表現技能を身に付ける。 (3) 表現の機会を設ける。 読書への関心・意欲を高める。 健康・安全への関心を高め、行動できるようにする。 教育相談体制の充実と望ましい人間関係をつくる。 個に応じた指導を充実する。 (特別支援教育の啓発と実施) 	<p>課題解決のための方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 児童一人一人の姿を知・徳・体の各面から多様にとらえ、一人一人の特性を生かした指導の一層の充実を図る。 全校職員が課題意識を共有し、学校経営への参画意識をもって校務を遂行する。 効果的な教育活動展開のための物的・人的条件整備を行う。 学校教育の質的向上を図るため、家庭・地域・関係機関との一層の連携を進める。 								
徳	知	体							
<ol style="list-style-type: none"> 相談ポスト活用、相談コーナーの設置などいつでも、だれにでも読めるしくみをつくる。 本に親しむ機会をつくる。 <ul style="list-style-type: none"> 朝の読書の効果的実施 てんとう虫の会による読み聞かせや朗読 学級文庫図書の定期交換 	<ol style="list-style-type: none"> 自分の考えや気持ちを書いたり、話したりする力を高める学習活動を取り入れる。 <ul style="list-style-type: none"> 日常の授業での表現の場づくり 国語科言語活動の授業の工夫 道徳の時間に気持ちや考えを表現する場を大切にする。 一人一人の学習状況にあった指導の工夫を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ティームティーチングなどの授業研究 どんぐり学級を生かした指導 	<ol style="list-style-type: none"> 自分の健康やに関心を持つ。 <ul style="list-style-type: none"> 健康診断結果活用 がんばりカード活用 養護教諭や外部専門講師とのチームティーチング 授業参観時の親子授業 							

図11 保護者向けの説明資料

この事例から学ぶこと！

1 評価者(保護者や地域の方)に、学校の教育目標や経営方針、日ごろの教育活動等について十分な情報提供を行ったことです。

情報提供の方法

- 学校だより
- 学級通信
- P T A 総会(保護者会)
- W e b ページ
- 学校評議員会 等

2 保護者や地域の方にも、学校の教育活動について評価してもらえるように、評価項目、評価基準をあらかじめ示していたことです。(成果を評価する)

- 評価項目を示すことで、保護者が参加する学校の行事や教育活動の評価を評価項目に従って評価することが可能となります。
- 学校開放日の授業参観や運動会等の行事にアンケート形式で評価してもらうことができます。

3 児童にも、学校の重点課題に1年間どのように取り組んできたかを自己評価させたことです。

4 学校が常に評価を生かして改善し続けていることです。



今年度学校が重点的に取り組む事柄について、あらかじめ、保護者や児童に説明し、取組の様子を様々な手段で伝え、評価を得ています。その評価結果の公表を通して、保護者が学校と一つになって子ども達を育てていこうとする気運が高まってきている事例です。